No.４９１　水谷東公民館だより

ひがし

編集　水谷東公民館だより編集委員会
発行　水　谷　東　公　民　館
〒３５４－００１３
富士見市水谷東２－１２－１０
TEL　０４８－４７３－８７１７
FAX　０４８－４７１－７５５５
E-mail:fkm-hi@krc.biglobe.ne.jp

今月号は令和２年12月号で特集した「水谷東の珍名さん」の続編です。

各町会在住の編集委員から紹介された名字もあれば、住宅地図とにらめっこの上、探し当てて取材をお願いしたケースもあります。また散歩しながら表札をそれとなくながめると「これは！」と思うような珍しい名字を発見することもありますね。

さらにインターネットで調べてみると、それぞれの名字の由来やどこの都道府県に多いかなどもわかって、とても興味深いものです。

このお名前　読めますか？

～水谷東の珍名さん PART2～

昇　徳子
（のぼる・のりこ）1丁目

のぼる
昇

私の氏名にふりがなを付けると「のぼる・のりこ」です。珍しいということは承知しています。小、中学校時代は何も不思議がることなく過ぎてきましたが、高校に入学し国語の教師が「あなたの姓は『のぼる』と読むのはおかしいね。『のぼる』は動詞だ。名詞なら『のぼり』になるのだけどな？」…と不思議そうに言われたのが記憶に残っています。

明治になって平民も「氏」の使用が許されたことの関係かと思います。小、中、高校でも同姓は少なく、上京して学生寮でも同様でした。色々調べてみて、世田谷区に一軒あったのには驚きました。

さて「のりこ」のエピソードですが、両親は、「清く良く久しく富士に徳あれ」と短歌みたいに男子でも女子でも使用できるようにしたと、亡くなった母から長姉が聞いていたのです。末っ子の「徳子」を「のりこ」とした理由は知らないとのこと。ご多分にもれず多くの人は「とくこさん」と呼ぶことに。やっかいな名前ということでしょうか。

☆☆名字（苗字）基礎知識☆☆
親族、血族を表す氏（うじ）を名乗る者（地名や職業に由来）が各地に増え、氏を区別するために領地の地名をとるなどして名乗るようになったもの。なお現在では氏や名字の区別はなくなった。
（苗字・名字由来ネットより）

遊佐　禎一
（ゆさ・ていいち）3丁目

ゆさ
遊佐

今回のお名前のご紹介は遊佐（ゆさ）さんです。ご出身は温泉とこけしで名高い、宮城県鳴子町です。

小学校のクラスでは、１クラス２０～３０人の中に５～６人はいたそうです。血縁関係をお伺いしましたが、「多分、遡れば繋がっていると思いますが、両親も叔父叔母もいなくなり確認できません。ただ、山形県に遊佐町（ゆざまち)というところがあるそうで、何らかの関係はあるのかなあと思っています。」とのことでした。事実、鳴子温泉の旅館のホームページに、山形県飽海郡遊佐町（あくみぐんゆざまち）の豪族であったが、権力闘争に敗れ、一族郎党で、鳴子町に移り住んだとの記述がありました。

今でも遊佐姓の多くが、鳴子町に在住で、全国で９４００人の内３５００人の方が鳴子町周辺の方でした。
（苗字由来ネット調べ・編集委員取材）

遊佐
ゆさ　ゆうさ
ゆうざ　ゆざ
あそさ　うさ

六間口　真紀子
（ろっけんぐち・まきこ）榎町

ろっけんぐち
六間口

主人の出身は新潟です。と言っても地元でも六間口は数える程しかおらず、大体親戚だそうです。

私は旧姓が漢字一文字で気に入っていたこともあり、しかも六間口は珍しい名字で地元では知っている人が多かったこともあり、最初はとても抵抗がありました。結婚が決まった時、娘しかいないわが家の事情と、名前への抵抗感で主人に「婿養子になってもらえないか」と聞いた程です。お義母さんに大反対されて話は流れてしまいましたが…（笑）。

六間口になって驚いたことがふたつあります。ひとつ目はクレジットカードを作るときのアルファベットの多さ！！何度も確認して記入したことを覚えています。ふたつ目は、名字が変わってから初めて友人の結婚式に出席した時。文字が増えて、ご祝儀袋に名前が収まりませんでした！？この時「子どもが生まれたら名前は漢字で二文字まで」と決めました。

この名字になって１０年以上たちましたが、結婚した当時の違和感もなくなり、今ではすっかり慣れてしまいました。慣れって怖いですね（笑）。

藁谷　浩一
（わらがい・こういち）2丁目

わらがい
藁谷

私の名前は藁谷（わらがい）です。日本姓氏語源辞典によると「福島県いわき市平中山藁谷発祥」とあり、実際私の父が福島県いわき市平出身でした。

ただし、藁谷の読み方は他にもあります。まだ電話帳が家にあった頃、同じ漢字で「わらたに」「わらや」さんも少し離れた所に見つけることができました。その中で「わらがい」は難読の部類に入るでしょう。これまでの人生で、初見で読めた方にはそうお目にかかったことはありません。また、学校や職場などで同じ姓の人がいたこともありません。ただし、ニアミスは一度だけありました。前の会社に転職した時、「藁谷が去って藁谷が来た」と言われました。わたしが入社する直前に見知らぬ藁谷さんが退社して、私が入れ違いに来たというのです（やはり遠縁の方でした）。

ワラ（藁）というのは、稲作農業での米の副産物です。古来、日本人は注連縄・注連飾り（しめなわ・しめかざり）を張って神々を招き、神仏への供物をワラ皿に入れ、盆にはワラ火をたいたりワラ馬やワラ人形を作って、死者の霊を送り迎えしました。日本人はワラの中に生まれ、ワラの中に育ち、ワラの中で彼岸に送られました。ワラは日本文化の「核」だったのです。
（参考：宮崎清『ものと人間の文化史　藁１』）

ひがしの窓　２月

2	水	水谷東小学校	入学説明会
3	木	水谷東公民館	食育講座①（家庭教育支援事業）
6	日	２丁目町会	常任理事会
		榎町町会	資源回収・定例会
		水谷中学校	１年生スキー宿泊学習
8	火	水谷中学校	新入生入学説明会
10	木	3丁目町会	にこにこサロン
12	土	1丁目町会	班長・役員会
13	日	水谷中学校	2年生修学旅行（～15日）
15	火	水谷東公民館	食育講座②（家庭教育支援事業）
16	水	水谷東小学校	学校運営支援者協議会
17	木	水谷東小学校	授業参観・保護者会（高）
18	金	1丁目町会	サロン『青空』
		２丁目町会	サロン『縁側』
		水谷東小学校	授業参観・保護者会（中）
19	土	3丁目町会	理事会
21	月	水谷中学校	期末テスト（～22日）
22	火	水谷東小学校	授業参観・保護者会（低・た）
27	日	1丁目町会	防犯・防災委員会

※この予定表は１月１０日現在の予定です。詳細は各団体・機関に問合せください。

公民館の利用について

【４月分の利用受付】

◎予約システム抽選申込期間
１月１５日（土）～３１日（月）

◎抽選日（自動抽選）
２月１日（火）

◎抽選結果の確認期間
２月１日（火）～６日（日）

◎窓口受付開始日
２月７日（月）午前９時～

◎システム仮予約受付開始日
２月８日（火）
※仮予約の有効期限（１５日間）にご注意ください。

【２月の休館日】２月２１日（月）

【公の施設利用制限について】
◎マスクの着用など、引続き感染予防対策の徹底にご協力をお願いいたします。

※くわしくは、市のホームページに掲載されています。

↓コロナ感染状況により、中止となる場合もあります↓

水谷東ふれあいサロン情報

●ホッと安心健康相談
日時：２月３日（木）午後１時３０分～３時３０分

●水谷東子育てサロン
日時：２月１６日（水）午前１０時～１１時３０分
☆ミニミニシアター（出演：人形劇あゆ）

●パソコン相談室
日時：２月１・８・１５・２２日（火）
午前１０時～１２時

事業報告『ボッチャ体験会』

１２月４日(土)、公民館多目的ホールにて「水谷東ボッチャ体験会」を行いました。ヨーロッパ発祥のボッチャ。世代や障がいの有無に係わらず、全ての人が競い合えるスポーツです。東京２０２０パラリンピックのボッチャ個人で金メダルに輝いた杉村英孝選手の活躍が今も印象的です。

当日は子ども６名・おとな３名が参加。富士見市スポーツ推進委員２名の指導により、試合を体験しました。

参加されたお母さんから「初めて体験しましたがとても楽しかったです。ルールが分かってくるとなお楽しく、意外と頭を使いますが、まさに老若男女楽しめるスポーツだと思いました。機会があれば是非またやりたいです」との感想をいただきました。

富士見市教育委員会では「オリ・パラ」のレガシー（遺産・未来に引き継いでゆくもの）創出に努めており、水谷東公民館もボッチャによる事業展開を今後予定しています。

思い出の場所　気になる所　No.８２　ときがわ町

水谷東から車で50分ほどのときがわ町には、とても美味しいうどん屋（高柳製麺）や豆腐屋（わたなべ）があり、温泉と自然も楽しめるわが家お気に入りのレジャースポット。なかでも一番の思い出の場所が「木のむらキャンプ場」です。

浅瀬で遊べるきれいな川が流れ、改修したばかりのとてもきれいなキャンプ場。アウトドア熱が盛り上がった自分たちは、コテージの隣にあった常設テントを借りました。

しかし天候は悪化し、夜には土砂降りに。耳元でテントに打ちつける大粒の雨音は激しく、圧倒的降水量に床から浸水してくる恐怖体験。最初で最後のテント泊は、家族の心に家屋の素晴らしさを深く刻み込みました。大工さんありがとう！

清水　健太（2丁目）

◎◎◎富士見コンドルス優勝への道◎◎◎

水谷東小学校を中心として活動しているわがコンドルス。6年生が11人、５年生以下が一人もいない…。

遡ること１年前。市の少年野球新人戦大会で優勝。優勝候補として迎えた6年生最初の市内春季大会は、優勝どころか全く勝つことができずに終えた。選手たちはそんな経験から、勝ちたい・優勝したい気持ちが強くなり、それまで以上に練習に励んだ。夏から秋にかけての大会ではいい所までいくも、なかなか勝ちきることができないまま最後の公式戦となる富士見市少年野球秋季大会を迎えた。

選手たちの見違えるほどの活躍で堂々の優勝！みんなこれほどうれしいことはなかった。そんな６年生たちも２月には卒団。いよいよ選手がいなくなる…伝統ある富士見コンドルスをなんとしても存続させたい。地域の方々、野球に興味ある小学生・保護者のお力を貸していただきたい。よろしくお願いします。

菊地　裕二（監督）

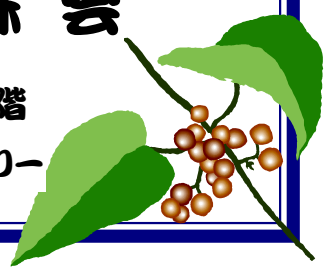
統　計　ひ　が　し（R3.11.30現在）

町会	世帯	人口	男	女	増減
１丁目	427	878	432	446	12
２丁目	1,012	2,188	1,038	1,150	2
３丁目	1,006	2,113	1,087	1,026	-4
榎　町	275	540	259	281	-2
合　計	2,720	5,719	2,816	2,903	8

※増減は前月（R3.10.31）人口比です。

２月の展示
扇　珠　会

公民館２階
展示ギャラリー



最後の豆の木学校

畠中 翼（榎町）

豆の木学校初参加は小学校２年生の夏休み。母に勧められ何となく参加したが、その衝撃は大きく今でも忘れられない。それからおむすび少年団に入団し15年。指導員の代表になった。

大学４年生。僕にとって最後の豆の木学校が12月18日・19日に開催された。この時も校長を務めた。コロナ禍により昨年も今年も夏の豆の木実施をあきらめ、やっと開催できたが、多くの壁にぶつかった。そんな中でも指導員たちと支え合い、会議を重ねてみんなと同じ方を向き当日を迎えられた。子どもたちにも指導員たちにも濃い２日間になったと思う。昔僕が感じた衝撃が小学生に伝わっていたらいいなと心から願う。

僕は今年限りだが、来年はもっと面白くなるはず。次世代の指導員たちに期待している。

公民館の方々、小学生のみんな、ご協力頂いた保護者の方々、最高の指導員たち、15年間の豆の木学校に感謝感謝！

昭和６０年（１９８５年）から、『きょうだい会（親、子供を含む）』を２～３年毎に栃木県内の温泉地でやっています。

始めの頃は常時２０名以上の参加があったのですがここ数年は半減し、昨年は７名になってしまいました。親は亡くなり、自分の子どもも巣立ち、甥っ子や姪っ子もついてこなくなり、兄弟姉妹のみになってしまいました。

年齢も７０～８０才代になり、「お互い動けるうちは続けよう」と再会の祝杯を挙げて、また逢う日を約束し帰途につきました。

このコロナ騒動が全てを狂わせている現在、１日も早い収束を何よりも願うばかりです。　飯山編集委員